

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,2,a)}

本年度最初の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOM では、数理モデル化と問題解決 (MPS) 研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。今年度も 5 回の MPS 研究会開催を予定しています。6 月下旬開催の MPS118 (沖縄科学技術大学院大学)、7 月下旬開催の MPS119 (ラスベガス、国際会議 PDPTA との共催)、9 月下旬開催の MPS120 (小樽商科大学)、12 月中旬開催の MPS121 (未定、関東地区)、来年 3 月開催の MPS122 (未定、温泉地区) です。本トランザクションの発刊時点では、すでに、MPS118 が終了していると思います。

詳細は HP に掲載していますので、ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2017 年 9 月開催の MPS115 (北海道大学) に投稿されて採録されたオリジナル論文 1 編、2017 年 12 月開催の MPS116 (電気通信大学) に投稿されて採録されたオリジナル論文 4 編、2018 年 3 月開催の MPS117 (指宿温泉) に投稿されて採録されたオリジナル論文 4 編、非連動投稿されて採録となった論文 1 編を収録しています。担当編集委員は栗原 聡、庄野 逸、吉本潤一郎、高野 茂、北 栄輔、池田大輔、阿部 昇、渡邊真也、関嶋政和、松田健となっています。

TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、

投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sigmps>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌トランザクション「数理モデル化と応用」編集委員長
名古屋大学
Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

² 神戸大学
Kobe University, Kobe, Hyogo 657-0013, Japan

a) kita@i.nagoya-u.ac.jp